

英語科部会

研究主題 4 技能を統合的に活用し 積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成

1 主題について

学習指導要領に基づいて、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の4技能を統合的に活用し、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒の育成を目指している。聞いたり読んだりしたことについて、話したり書いたりして自分の考えを発信する生徒を育成するために実践を共有し、研究を深めてきた。

2 今年度の取組

月 日	実践内容	月 日	実践内容
4月10日	第1回総合研究会 研究主題設定・年間計画作成	10月29日	第2回総合研究会 授業研究会（田代中学校）

3 研究内容

(1) 授業研究

- ・期 日 平成26年10月29日（水）
- ・会 場 田代小学校
- ・単元名 2年 Unit5 A New Language Service
- ・授業者 鳥潟 七緒子
Pierrot Jesse Fillion

① 授業者から

- ・生徒にとって身近なトピックになるよう単元づくりをした。来日して日の浅いALTの悩みを聞き、生徒から生活、文化、言語に関するMyServicePlanを提案する単元にした。
- ・教科書に出てきた接続詞や英語表現を活用して、MyServicePlanの文作りをさせた。また、友達の発表に反応する際の表現も、教科書を参考にした。（JTEより）
- ・生徒の提示した文章が大変興味深く、もっと聞いてみたいと思うようなトピックがたくさんあった。生徒からたくさんのお話を習って、自分も出身地のカナダについて教え、情報交換していきたい。（ALTより）

② 協議

- ・単元を貫く言語活動が中心にあり、生徒が目的意識をもって取り組める単元計画だった。ALTの効果的な活用と、生徒にとって必要感のある活動の設定が非常に良かった。
- ・話型シートが効果的に活用されており、全ての生徒が安心して学習に取り組んでいた。
- ・全員が発表できる場づくり、一人一人を認める場づくりが良かった。
- ・展開部にやや時間がかかり本来のねらいの「書くこと」にじっくり時間を割けなかった。発表後の問答を簡潔にして、その時間を「書くこと」に使ってはどうか。
- ・ALTの先生に自分のMyServicePlanを採用してもらうためのPRタイムを設定したり、班ごとに一番よいプランをしばらくしてプレゼンさせるなどの展開もできるのではないか。

(2) テーマ研究

複数の技能を統合的に指導した授業の実践資料を持ち寄って実践例を共有し、グループ協議を行った。



【ALTの先生に提案する生徒たち】

(3) 指導助言（北教育事務所 指導主事 石井 むつみ）

- ・効果的なTTでALTの活躍の場がたくさんあり、生徒も生のコミュニケーション体験ができた。
- ・ねらいと場の設定が適切で、子どもの願いや思いが生かされた課題設定だった。
- ・授業がコミュニケーションの場になっていた。JTEはAllEnglishで分かりやすく適切なスピードで話し、表情やジェスチャーも効果的に使っていた。
- ・「4技能の統合的な活用」を強く意識した言語活動の展開であった。聞いたり、読んだりしたことに基づいて自分の意見を話したり書いたりする活動になっていた。話型を活用し、全ての生徒が発表したり意見に反応したりすることができていた。
- ・「単元」というまとまりで授業をとらえることが今の英語教育に求められている。単元のGoalActivityに向かって一貫性のある単元構想ができていたことが素晴らしかった。
- ・6/11時間目に、教科書の内容と生徒の実生活を結び付けて、「秋田県に住む外国人のための県の取組」について書く時間が設けられており、「教科書で教える」実践であった。
- ・Unit4とのつながりが意識された単元計画だった。CAN-DOリストで、どの単元をどの項目につなげるか配置を意識して年間計画、単元計画を組んでいくことが大切である。
- ・全ての生徒が3文以上書くことを達成するための手立てを考える必要がある。話型シートと板書では、不十分な生徒もいる。接続詞の後ろの従属節が今日のポイントであるため、従属節以降の例文をたくさん紹介すれば、より書きやすかったのではないかな。
- ・接続詞の役割を意識させ、根拠を明確にして自分の意見を主張させることが必要である。どんな理由でお勧めするのか、接続詞の後ろの理由をしっかりと書かせたい。
- ・学習形態を工夫する必要がある。今日は個の活動が多かったが、グループの学び合いもあればなおよい。グループでの練り合い、見直し等を取り入れてみてはどうか。
- ・ライティングの評価を1時間の中で行う手立てを工夫したい。また、どういう作文を書けばよいのか具体的に提示するなど、ねらいを達成した姿が分かるような手立てを講じたい。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・授業全体を通して簡潔で分かりやすいClassroom Englishを用いて授業を進めていた。All Englishで授業を進める際のよい手本となるものだった。
- ・ALTの効果的な活用と、単元を貫く言語活動の設定により、必要感のある活動となっていた。また、生徒全員を活躍させる場づくり、認める場づくりが素晴らしかった。

(2) 課題

- ・授業構成の時間配分を見直し、重点を置くところに時間をかけてじっくり取り組めるよう工夫することが必要である。
- ・授業内でライティングの取り組みを評価する手立ての工夫があるとよいのではないかな。